



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

# わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ

http://waka-kusa.net/

発行  
志津南地区自治連合会  
連絡先  
志津南市民センター  
(公民館) 563-6206

## わが町10大ニュース

地区計画、建ぺい率など改定へ(11月)

町並み保存委員会(上田恒章委員長)は建ぺい率、物置設置基準など、昨年3月施行された地区計画の一部について改定する方向で作業を開始した。

「市長とトーク」で安全な町づくり要望(6月)

17日。伊庭市長を囲んで各町内会長らが懇談。歩道や緑道整備、歩車道の段差解消などを要望した。また地区計画施行後の問題点なども話し合った。

「向こう三軒両隣運動」スタート(4月)

自治連が19年度事業の核の一つに掲げたもので、初の事業として15日、「琵琶湖一周ウォーキング」を開催。第1回は桜の海津大崎を歩いた。

ふれあい夏まつりに史上最多の3600人(7月)

28日。10回目の節目を迎えた「志津南ふれあい夏まつり」に昨年を上回る3600人が参加、史上最多を記録した。栗東の江州音頭同好会が特別参加した。

安全な道路へ歩道・緑道改修始まる(8月)

22日。6月の市長とトークで訴えた地域の要望に市が応えたもので、若草交差点や地区内の歩車道のすりつけや西公園~かがやき通りの陥没箇所を改修。

市が「協働のまちづくり」で説明会(9月)

22日。住民自治を高め、行政と協働しあってまちづくりを進めようという施策について説明。財源や権限の一部委譲など先進地の事例を紹介した。

初の消火栓器具利用の防災訓練実施(11月)

25日。町内各所に設置の消火栓ボックスの消火栓、ホースを使う防災訓練が消防署指導のもと中央公園で行われ、各町から参加の25人が訓練に汗を流した。

第1回ニュースポーツ大会開催(6月)

24日。これまでのソフトバレーボール大会を発展させ、カーリングに似たディスコンやビーチボールを加えて体育振興会が開催、250人が参加した。

志津南小公開授業に自転車口ポット登場(10月)

25日。保護者や住民も参加する志津南小の公開授業に村田製作所の口ポット「セイサク君」が登場。自転車で平均台を走る姿に驚きの声が上がった。

一括購入の火災警報器、1000個超える(10月)

平成15年5月末までに全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられたことに伴い、自治連が一括購入を募集したところ10月末現在で1000個を超えた。



ホースで放水を初体験

秋の一斉清掃が行われた11月25日、さっぱりとした若草中央公園で消火栓を使った初めての

## ホースに四苦八苦 初の消火栓使用訓練で

の防災訓練が行われ、各町内から参加した25人が、慣れない消火栓器具や消火栓ホースに苦勞しながら放水訓練に取り組みました。訓練には西消防署員6人が立ち会い、器具やホースの使い方を丁寧に指導しました。住宅火災の初期消火には消火器が多く使用されますが、各町内にはさらに13カ所の屋外消火栓ボックスがあり、バルブ開閉器具、20メートルホース3本と筒

先が収納されています。これを使えば直径60センチ範囲内を放水カバーできます。今回は中央公園近くのボックスを使用して訓練が行われました。消火栓器具の取り扱い方、ホースの持ち方、転がし方、接続の仕方、巻き方など基本を教わりました。扱いにくいホースに、転がらない人、接続を忘れて走る人、うまく巻けない人など、苦勞していました。また消防署から出動したポンプ車を使っての放水も初体験しましたが、消火栓ボックスで長い間眠っていたホースは圧着して水が通りにくくなっていた上、

目標に向けて放水する筒先は圧力が強く、二人がかりで操作してもなかなか方向を定めることができませんでした。しかし消防署員の指導でホースの扱いも安定した放水もできるようになり、屋外消火栓ボックスはあるものの、その取り扱い方を十分理解できていなかっただけに、有意義な実地訓練となりました。実地訓練終了後、市民センターで地震時の家具の転倒防止の方法など防災ビデオを観賞、今後も継続して訓練を適時行う必要があることを確認しあって防災訓練を終わりました。なお、消火栓ボックスのホー

スがカバーできる範囲を超えた場合は、他のボックスのホースを追加使用することになります。その配置図詳細は志津南ホームページの防犯防災ページに掲載していますので参照して下さい。

## 700人が枯れ葉退治

草津市の「散乱性ゴミ一斉清掃の日」に合わせ、志津南地区の秋の一斉清掃が11月25日に行われました。

午前8時30分、参加者約700人が清掃道具を手に最寄りの公園に集合、同10時には19カ所の集積場は刈り草や落ち葉が大きな山を築きました。

残念ながら落ち葉は六割程度集めた後から枯れ葉がばらばらと、せつかく清掃した路面に舞い落ちていました。



姿を消した落ち葉だが…

# 家族の絆の大切さ訴え

## 失明の主婦が社協講演会で

視力を失いながらも力強く生きる姿勢の大切さを訴える「かつちゃん拝まんせ」と題した講演会が11月11日、志津南市民センターで開催され、住民ら約85人が参加しました。



生い立ちを語る浜本さん

例年、戦没者追悼の意味を兼ねて志津南地区社会福祉協議会が行っている「平和祈念講演」で、今回は少し視点を変え、失明しながらも家族、盲導犬とともに前向きに生きる堅田在住の浜本捷子（かつこ）さんの体験談を聞きました。

浜本さんは昭和17年生まれですが、先天性白内障のため数回手術を受け、左目はやっと光が見える程度、右目は〇・二の視力をもてるようになったそうです。

視力が少しあるということで普通の小学校、中学校へ通いました。両親から「目が悪くなるから勉強はしなくてもよい」と

いわれ勉強しなかったため、高校へ進学できなかったし、就職もできなかったそうです。

浜本さんは「悶々としていたころ、町で小学校の担任先生と出会い話をした。後日先生から届いた手紙に目覚めて、19歳で盲学校に入学した」ことが転機となり、「入学して周りの人たちの明るさを見て、自分の考えが間違っていたことに気づいた」

そうです。24歳で卒業し、いろいろな免許を取得。病院やびわこ学園で働きながら結婚、2児の母親になったものの、15年前に白内障が再発し、完全に光を奪われてしまいました。

浜本さんは「失明してから今日まで、いつでも前向きに生きてこられたのは家族の支えがあったから。いまでも支えられてい

ます」と家族の絆（きずな）の大切さを強調しました。

盲導犬ドゥーリー君（ゴールデントリバー、オス5歳）は浜本さんが話している間はじつと足元にずっとくまっています。演題の「かつちゃん拝まんせ」浜本さんが幼少時代を過ごした伊香郡木ノ本町は浄土真宗の信仰が厚く、何かにつけ「お仏壇の前で拝みなさい」と言われたことによるものです。

このタイトルの著書も出されており、市民センターへも寄贈いただきました。（社会福祉協議会 藤田征宏）

# 高校サッカーで若草勢活躍

## 野洲高西口君は全国大会に

高校サッカー界最大のイベント、第86回全国高校サッカー選手権大会の滋賀県大会で、若草の3選手が活躍、うち一人は県大会で優勝した野洲高



西口 諒君



向井翔太君



足立大治君

校のメンバーとして全国大会に出場することになりました。県大会で活躍したのは、全国大会に出場する野洲高の西口諒君（若草3丁目）のほか、

3人いずれも各チームの中心選手として活躍、輝かしい成績を収めました。全国大会は今年の暮れから始まり、野洲高は大晦日の31日に、あの名選手中田英寿を生んだ山梨県の「韮崎高」と初戦を戦います。

西口君の活躍を地域みんなで応援しましょう。

# いもご飯でふれあい

志津南小学校5年生代表8人が11月27日午後、4班に分かれいもご飯とメッセージを携えて地域の一人暮らしの高齢者宅を訪問しました。写真。いもご飯は5年生が春、校地



# ふれあいお茶会開く



お点前を楽しみながら交流

「平和祈念講演会」に合わせて、ボランティアグループ「泉」が恒例の「ふれあいお茶会」を開きました。

野花を飾りお琴のテープがゆつたり流れる中、点て出しの気楽なお茶席に、講演を聞き終えた方々が大勢立ち寄り、一服のお茶と和菓子でロビーと和室はひととき、和やかな談笑の輪につつまれ、地域のみなさんが交流する風景が見られました。

今後このようなふれあいの場へどうぞお越しください。（ボランティアグループ「泉」）

# 公民館で清掃と消火訓練

志津南市民センターの一斉清掃が11月29日行われ、公民館自主サークルや地域の各種団体の利用者ら約50人が全館を磨き上げました。

この日午前9時から一斉に行われた清掃では、窓や床の拭き掃除を重点に実施、全館すっきりきれいになりました。

このあと、西消防署分署の指導を受けて、参加者と職員が消防訓練を実施。通報と避難誘導訓練、それに消火訓練も行いました。消火訓練では、水消火器を使って、さまざまな状況での消火訓練を行いました。

（民児協）

# 町内対抗に闘志燃やす

## 楽しく地区スポーツ大会

草津市チャレンジスポーツデーの一環として、志津南地区体育振興会は11月23日、町内対抗スポーツ大会を志津南小学校で開催。グラウンドではソフトボール大会を、体育館ではワン・ツー・シュート大会を行いました。また二ユースポーツの普及に向け、



大人相手に健闘の岡本西チーム

バスケットピンポン、囲碁ボール、カロリング、室内ペタンクの練習会も同時に開催しました。

同大会には男女合わせて約三百人が参加。試合に出る人、練習に励む人などさまざまでしたが、真剣かつ楽しく、和気あいあいのうちに大会を終えました。

試合終了後、成績優秀チームの表彰式を行いました。成績は次の通りです。

- ソフトボール大会
    - 優勝 若草2丁目
    - 準優勝 岡本町西
  - 3位 若草6丁目
  - ワン・ツー・シュート大会
    - 優勝 若草2丁目
    - 準優勝 若草8丁目
    - 3位 若草3丁目
- (体育振興会)

## 瀬田川遊覧楽しむ

高齢者ほのぼのサークル支援事業、ボランティア「泉」のバスツアーが11月15日、瀬田川と石山寺一帯で実施されました。おだやかな秋晴れのなか、34人の参加者はバスで市民セ

ンターを出発。ほどなく石山港に到着。栈橋には可愛らしくレトロな、どこか昔懐かしいスタイルの外輪船、「一番丸」にワクワクしながら乗船しました。いよいよ琵琶湖から流れ出る



船からの眺めを楽しむ参加者

唯一の川、瀬田川クルージング1時間コースの始まりです。まず西国十三番札所、源氏物語でも知られた石山寺の美しい山門を右手に見ながらゆったりと南下。遠くの山並みは十二番札所若間寺、立木観音と続き、南郷洗堰でUターンし今度は琵琶湖をめざし北上です。「兩岸の道路は毎日マラソンのコース」とガイドさんの名調



- 12月19日(水) やすらぎ学級『防災』 13:30~17:00
- 12月22日(土) 若寿会: 奉仕作業
- 12月29日~1月3日 公民館休館
- 1月5日(土) 若寿会: 健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合
- 1月9日(水) IT講座「エクセル」 13:00~16:00
- 1月11日(金) 定例健康相談 10:00~12:00 市健康推進課 ファミサポキャラバン隊 (親子ひろば) 10:00~12:00 草津市ファミリーサポートセンター
- ふれあい昼食会 12:00~13:00 ボランティア泉 IT講座「エクセル」 13:00~16:00
- 1月13日(日) 若寿会: 新年会 10:00~16:00 左義長 若草中央公園 9:30~11:30
- 1月15日(火) IT講座「エクセル」 13:00~16:00

若寿会: 健康ウォーキングは毎月第1・第3土曜日 8:45 若草中央公園集合 地域サロン: 懐メロを歌う会は毎月第2・第4火曜日 10:00~11:30 市民センター

印の会場は志津南市民センター(公民館)です。

## 長寿もたらす妙薬



セイジ



子にみなさんは聞き入っています。いよいよ船は「唐橋を制する者は天下を制す」と武将たちによって争奪戦が繰り広げられ、夕景は近江八景の一つになっていく日本5大名橋の一つ、瀬田の唐橋をくぐり、ここで再びUターン、石山港へ。エサを求め指先近くまで飛来し優雅に舞

うカモメなど、ゆったりとしたの船旅を楽しみました。下船後は名物しみじみご飯などの昼食。午後は石山寺参り、あられるは彩り増した木陰でくつろいだり、おみやげを買ったり自由散策を楽んだあと、午後3時市民センターに帰着しました。(ボランティアグループ「泉」)

シソ科の植物でヨーロッパ原産地の常緑低木です。葉は四角基部からよく分岐して直生します。葉には細かいしわがあり、長楕円形。初夏に葉茎を伸ばして花をつけます。長い歴史を通して、世界中で不老長寿のハーブとして高く評価されてきました。特に17世紀の中国では大変珍重され、オランダの商人は、葉1枚につき中国茶3箱という高価な値段で中国に売っていました。ローマ帝国では、儀式に捧げられる聖なる植物でした。疫病が流行つ

た時、イエス・キリストがセイジの精油を塗って回ったという話も伝えられています。セイジの香りには神経の不安を取り除く働きもあります。ドライリーフは肉料理の風味や味付けなどに使われ、現在もハムソーセージなどの加工食品にも用いられています。水はけ、日当たり、風通しのよい土であればほとんどが育ちます。心と体のトラブルを感じるときにお勧めのハーブといえます。(鳥山 博乃)



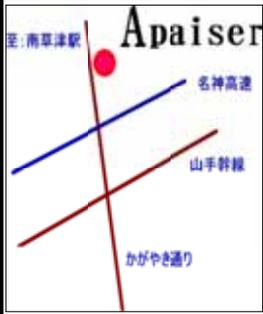
店は素通しのガラス張りです。日差しがあふれ、夜間は暖かい光でライトアップ、やさらぎ空間を演出する。

ランチメニューは千五百七十円の「エクラ」から五千二百五十円の「スペシャール」まで5種類。人気があるのは「ヌーベル」(二千五百円)。オードブル、スープ、魚または肉料理にパンとコーヒーまたは紅茶。エ

見出しは「百見は一食にしかず」と読む。あれこれ見比べるより、とにかく食べてみることにしよう。若草交差点からかがやき通りを少し下がった所にある「フランス料理 Apaiser」(アペゼ)のオーナーシェフ、小川彰彦さん(42)の食における哲学である。

アペゼとは「癒し」を意味するフランス語。ゆったりとした空間でおいしい料理を食べ、くつろいだ時間を過ごし、疲れを癒してほしい、との願いが込められている。

あえて「フランス料理」と冠したのは、ロイヤルオークホテルでオープンから13年間、磨き続けた腕で他店では味わえない料理を提供するという自信と心意気の表われである。



## 百見如一食

### フランス料理 Apaiser



クラにオールドブルが加わる。いずれもプラス三百十五円でデザートがつく。(税込み。以下同) デイナーは三千五百円の「ブ

追分町1085 7  
営業所 昼 11時半~14時  
(ラストオーダー)  
夜 18時~21時(同)

定休 火曜日  
12月26日~1月4日  
は休業

駐電 20台  
車話 (567) 4788

「食べていたただけは納得してもらえない」(小川さん)せいか、リピーターが徐々に増えている。食材は当然、新鮮さを重視しているが、とくにこだわりをみせるのが生命線であるソース。一日ではできないソースを何種類もつくる、そのベースソースを組み合わせて独特の味を引き出すそうだ。

店の外観から「入りづらい」という印象を与えているようだが、そうではないことを知ってほしい。小川さんはそう訴えた。

## 真野川で「化石やぐい」南っ子がハンマー手に発掘



川原で化石を探す南っ子ら

多く、必ずしも絶好の条件とはいいがたく、化石を発見するのは、かなり困難でした。それでもわずかながら数個の貝の化石を見つけたようでした。

高学年組の後の班はわずかな時間差でしたが、水量も減少し

化石発見の可能性が大きくなつた中、貝などの化石が次々と見つかりあちこちで大きな歓声が上がっていました。

普段は自然に対する関心が薄いと思われている子どもたちにとって、興味と関心を持つてくれるいい機会になったのではないかと思います。

(実行委員会)



無意識のうちに使っている言葉。「口ぐせ」とも言いますが、みなさんの口ぐせは何でしょう。フランスの言葉を使っていればよいことが起こり、マイナスの言葉を使っていれば運は逃げていきます。

「口ぐせ」を変えよう。容易なことではありませんが、習慣づけることはできます。意識して使いたいのは「ありがとう」と「ごめんなさい」ではないでしょうか。今、そんな言葉をかけあうことが少なくなりつつあると言われている。自分のことしか考えられなくなっているのか、習慣として身につけて

### 口ぐせ

(ことば) 「言葉」  
だま)

という言葉があります。言葉には魂があり、物事を左右する力を持っているという意味ですが、フランスの言葉によって自分も元気になる、周囲の人をも幸せにできる...。そんな人生を送りたいと思っ

(若草7丁目 ありがとう)

晩秋の湖西に大昔のびわ湖を求めて、わんぱくプラザ南っ子の化石掘りが11月10日、大津市伊香立南庄町の真野川で行われ、子ども49人、大人7人が参加しました。昨今の化石ブームの影響かとも思えるほど、参加者が予想を大きく上回り、時間差を設けて2班に別れての実施となりました。

滋賀県立堅田高等学校の服部昇先生の案内のもと、大津市伊香立南庄町を流れる、真野川の河川敷で今から約70万年前琵琶湖の湖底に形成された地層にハンマーなどを使って、化石を一生懸命探していました。

最初の班は1、2年生。前日降った雨の影響か、川の水量が